

日帰りハイキングコース

西武線沿線

埼玉県・奥武蔵・秩父

1. 天覧山

飯能市の西北で峰をもたげるのが天覧山。昔は羅漢山とも呼ばれていた。標高200mにも満たない山だが、梅や桜につつじの花見、山頂からの展望などが低山歩きを堪能させてくれる。ここから奥武蔵自然歩道を歩き巾着田へ向かうとのどかな風景が広がる。飯能駅の北口を出て大きい通りを歩き、二つ目の信号のある四つ角を左折。街中を過ぎ名栗方面にバス通りを歩く。天覧山を示す標識を見て右へ上って行くと、正面に能仁寺の山門が見える。寺の右手から登り始める。ゆるやかに登ると公園のような広場に出る。ここから山頂へは道が二つに分かれるが、どちらを登ってもよい。左は岩登り的なところがあるが危険はない。山頂は展望台になっていて飯能や入間市街、奥多摩や奥武蔵の山々が眺められる。展望を楽しんだら先程の広場に戻り、高麗峠を目指して杉や松林の道に行く。奥武蔵自然歩道として整備されており、要所には標識も立っている。

途中で国道を渡るときは注意しよう。西武線のガードをくぐってから再び林間の道になり高麗峠に着く。気持ちの良い自然歩道であるが両側はゴルフ場である。宮沢湖への道を分け梅原の集落に下り民家の脇から高麗川に出る。ドレミアム橋を渡ると巾着田に着く。

四季を通じて楽しめる山辺である 高麗駅が近いので時間の許す限り憩いたいところだ。

[コース]

池袋駅－（西武池袋線急行50分）－飯能駅－（徒歩1時間）－天覧山－（徒歩1時間）－高麗峠－（徒歩30分）－巾着田－（徒歩20分）－高麗 駅－（西武池袋線急行1時間）－池袋駅 高麗駅→池袋駅 ¥ 680
徒歩時間合計 170分（2.8時間）

2. 丸山（960.3m） 秩父市の西方にあるのどかな山。

フルーツや椎茸狩りが楽しめる「あしがくぼ果樹公園村」を縫い、雑木林の中を登って山に立てば奥武蔵の山並みが眺望出来る展望台がある。

下山は、かつて秩父地方と比企地方を結んだ大野峠から芦ヶ久保駅へ。芦ヶ久保駅を出て横瀬川と国道299号を渡り、左へ少し歩いて酒屋さんのある角を右に曲がって坂を上がる。

丸山林道近道の標識を見たら近道を利用しよう。車道を越えてふたたび近道を行くと倉掛集落の終わるところから山道になる。雑木林の中を緩やかな登りだ。奥武蔵グリーンラインの車道に出たら横切って、真っ直ぐに尾根道をたどる。栗の木が多く、秋ならば実を拾うのも楽しみ。小さな峰に登る分岐で「県民の森」と書かれた大きな看板がある。雑木の稜線を丸山をめざすと県民の森へ向かうトンネルの車道を越え、ひと登りすれば丸山の山頂である。

山頂は木に囲まれているが、展望台があり、上がると奥武蔵の山々の展望が得られる。

帰路は大野峠経由で下る電波塔を見て右に折れ白石峠との分岐を右に行けば大野峠に着く。

車道を渡って杉林の急斜面を下ると沢にぶつかり、何度か沢を渡り尾根を巻くように下りて行くとやがて集落の間から国道299号線に出る 右へ国道を秩父方面へ30分ほど行って芦ヶ久保駅に戻る。

[コースデータ]

西武池袋駅→芦ヶ久保駅急行（1時間20分 ¥ 650）

3. 三峯・妙法が岳 (1,329m)

三峰口駅前からのバスを大輪で降り、10分ほどでロープウェイの大輪駅。70人乗りのゴンドラで、深緑の樹海の上を山頂駅へ。空に向かって伸びた古杉の並木の中に三峯神社が鎮座。昔ながらの山岳宗教の歴史とともに荘厳な雰囲気にも包まれている聖域だ。境内には三峯山博物館やビジターセンターがある。神社周辺には食堂やみやげ物店が軒を連ね観光客で賑わっている。神社を後に雲取山方面への縦走路をたどる。山道に入ると、急に人影も減って、ハイカーや登山者だけの静かな世界に変わる。しばらくは露岩と木の根混じりの山道が続く。縦走路から分かれて奥宮の妙法が岳への道に入ろう。入り口に鳥居がある。ブナなどの深い原生林の中に山道が伸びている。静けさを味わいながらゆっくり登るとよい。太陽寺への分岐の鞍部からやせた尾根道を、小さな突起を越えて行く。急坂にかかるハシゴを下り、石段を登り詰めると妙法が岳だ。山頂は狭い。奥宮の祠があり、展望は開けている。三峯神社までは往路を戻る。登りの時とは違った目で、山道の周囲を観察しながら下って見るのも楽しい。下山路は遙拝殿の横から始まる表参道をとる。ジグザクの急坂が杉並木の中に続いている。かなりの急坂なので足元に注意しながら下りよう。古い人家や宿坊が途中にある。薬師堂跡の小平地まで下ると、真上に妙法が岳の突峰が仰ぎ見られる。さらに下って、やがて水音が聞こえてくると清浄の滝。ひと汗かいた後の清涼剤のような水場だ。ひと息入れたら後は最後の頑張り。木の間越しにロープウェイが見えるようになるとゴールは近い。ひょっこり大輪駅の横に下り着く。

[コースガイド]

池袋駅発 AM7:30 **レッドアロー** にて西武秩父駅(¥1,370)(徒歩5分)御花畑駅—(秩父鉄道)—三峰口駅 秩父鉄道三峰口駅—(バス20分)—大輪下車

4. 棒ノ嶺 (ぼうのれい) (969m)

奥多摩と奥武蔵の山域にまたがるまろやかな展望の山。

名栗川を渡って湯基入の流れに沿った林道にいる。すぐの所に若山牧水も泊まったという名栗ラジウム鉱泉の旅館がある。棒ノ嶺への登り口までは林道歩き。歩き始めの足慣らしにはちょうどよい山道に入ると、いきなり急登が始まる。

標高差300mほどの植林帯の急斜面を一気に登りたいところだが。無理をせず、ゆっくり登って、一汗かくとよい。登り着いた稜線上が岩茸石(イワケイシ)だ。その名の通りの大きな岩がある。ここで滝ノ平尾根コースと白谷沢コースとが合流する。

権次入峠を目指しての尾根道は一直線の急登だ。頂上が明るく開けてくると権次入峠だ。

ここで黒山からの道を合わせる。目の前に棒ノ嶺の丸い峰頭がのぞける。滑りやすい急坂を登りきれば棒ノ嶺山頂で、立派な休憩舎がある。東京都と埼玉県にまたがる山域だけに奥武蔵、秩父、奥多摩側の山並みが木の間越しに見渡せる。

帰路は都県界尾根を黒山から小沢峠へと下る。権次入峠まで戻って黒山へはいったん急降下して登り返す。ここで奥多摩の高水三山方面へのコースが分かれる小沢峠までは、東へ延びる長い尾根歩きだ。植林と雑木の間続く道は時々小さな登りがあるほかは大半が下り展望はきかない単調な尾根歩きだが新緑紅葉の頃は楽しみも充分。長い尾根歩きのゴールは、ひっそりとした小沢峠。峠からひと下りでトンネルの横に出る広い車道を道なりに下れば小沢のバス停だ。

[コースガイド]

池袋駅—(西武池袋線急行50分)—飯能駅—(バス45分)—名栗川橋—(徒歩40分)—棒ノ嶺登り口—(徒歩50分)—岩茸石—(徒歩25分)—権次入峠—(徒歩15分)—棒ノ嶺—(徒歩30分)—黒

山一（徒歩1時間40分）－小沢峠－（徒歩30分）－小沢バス停－（バス40分）－飯能駅－（西武池袋線急行50分）－池袋駅

徒歩時間合計 290分（4.8時間）

5. 武川岳（たけかわだけ）（1051.7m）

名郷バス停から湯ノ沢橋を渡る道路を白岩、鳥首峠方面への分岐のある大場戸まで行き、ここから右の広い林道を進む中山集落を過ぎると、間もなく林道は行き止まりになる。ここから道は山道になるので、足まわりを点検し、沢を左に渡り、小さな沢に沿って山道を登って行く。峠に近づくと急なジグザグ道になり登りきると石仏がひっそりと立っている妻坂峠に出る。この峠からの武甲山の展望は、眼前にさまるで岩肌がすっかり見えるほどだ。時折ダイナマイトの炸裂音が聞こえてくる。急で直線的な赤土の尾根を登りきると、武甲山、伊豆ヶ岳などの見える武川岳山頂に着く。ここから山伏峠への道を分けて、二子山へ向かう。尾根歩きとなるが周囲の木が大きくなりすぎて残念なことに展望があまりきかない途中焼山などのピークを上り下りして松枝の分岐点に出る。右に下がれば昔の二子山登山口に出られるが、現在はバスも本数が少ないので歩く人は少ない。しかし道は荒れていないので雨天の時は逃げ道に利用できる。ここでは二子山山頂に向かうことにする。ジグザグの急な登りを登りきると二子山山頂につく。芦ヶ久保への下りは尾根どおしと、谷間の道との二つがある。どちらを下っても時間的には変わらないが、尾根どおしの道を下って行くとトンネル越しに芦ヶ久保駅が見え、秩父市へ行くバス道路を歩かなければならないので、谷間の小滝の多い沢道を下った方が変化に富んで楽しい山歩きが出来る。この下山道は、すぐ駅の裏に出る。

[コースガイド]

飯能駅－（バス1時間10分）－名郷バス停－（徒歩2時間）－妻坂峠－（徒歩1時間）－武川岳－（徒歩1時間40分）－焼山－（徒歩1時間）－二子山－（徒歩1時間30分）－芦ヶ久保駅

徒歩時間合計 430分（7.2時間）

6. 蕨山（わらびやま）（1044m）紅葉、展望、そして温泉も楽しめる身近な名山

名郷バス停から飯能方向にわずかに戻り、右の細い車道に入って右へ蕨入橋を渡る。沢沿いの林道をしばしたどり、終点から右へ小橋を渡ると蕨山への登山道は始まっている。沢沿いの道はやがて杉林の急斜面となり、ジグザグに登れば支稜線に出る。蕨山へはこれを左に急登する。背後に伊豆ヶ岳方面の山並みがせり上がる。右に木の間越しに見えるのは有馬山稜だ。行く手には蕨山への尾根がもくもくと高まる。ミズキ、コナラ、カエデ、クヌギ多彩な雑木林の尾根には、時折ベンチが置かれている。露岩混じりの登りは緩急を繰り返す、ベンチのあるピークで蕨山を正面に見れば、さらに急な露岩帯となり稜線に飛び出す。山頂は左にわずかな所だ。展望図鑑も置かれた山頂からは、大持山、武甲山、武川岳伊豆ヶ岳、棒ノ折山、大岳山、川苔山、有馬山など、奥多摩、奥武蔵の山々が間近に眺められ、天気の良い日には飯能や入間、川越などの町並みの彼方に都心の超高層ビル群、そして榛名山、赤城山、日光方面の山々も望まれる。十分に展望を満喫したら藤棚山や大ヨケの頭に向かって尾根筋へと下り込む。ザラザラと滑りやすい急な道だ。傾斜が緩むと右に防火帯の切り開きが分かれるが、「河又」を示す道標に従い、コースは雑木林を直進する。緩やかに登れば三等三角点の藤棚山で、背後には木越えに蕨山がすでに高い。

午後の陽光に青く霞む棒ノ折山を背景にして杉林のピークで右曲し、山稜を巻いて行けば右手が開けた露岩に出る。有馬山方面を眺めながら休憩するのに良い所だ。すぐ先が大ヨケの頭で、有馬小屋へ

の道が右に下るが、これをとると車の激しい名栗湖畔の車道を長々と歩かなければならない。美しい雑木林の道は穏やかな起伏を繰り返す。小ヨケの頭はいつしか過ぎて、金比羅山南面の巻き道となる。手入れの行き届いた植林帯である。道が尾根上に戻る所には秋葉大権現の石祠が祭られている。秋葉神社は火伏の神様。林業で生計を立てる山村の人々にとって、山火事は生活に大打撃を与える災害だ。山火事防止の願いを込めて祭られたのだろう。杉木立に囲まれた金比羅神社で道は二股に分かれる。ここは道標に従い右に下る。名栗湖のきらめく湖面はすぐ下だ。湖畔の景色を堪能しながら広い車道を下り、坂の途中から右に入れば名栗村営温泉センター「さわらびの湯」が間近に湯煙をあげている汗を流してひと休みしていききたい。もとの道に戻って坂を下り橋を渡れば河又名栗湖入口バス停は目前だ。

[コースガイド]

池袋駅-(西武池袋線急行50分)-飯能駅-(バス60分)-名郷バス停-(徒歩20分)-林道終点-(30分)-支稜線-(1時間10分)-蕨山-(25分)-藤棚山-(35分)-大ヨケの頭-(20分)-小ヨケの頭-(30分)-金比羅神社-(20分)-名栗湖-(20分)-河又名栗湖入口バス停

徒歩時間合計 270分(4.5時間)

7. 破風山 (はっぷさん 627m)

皆野駅から一般道路を歩く車の行き来が激しいので気を付けて歩こう。棕宮橋の所から右に入り車道の登りになる。どんどん展望が開け、秩父盆地や武甲山の眺めが美しい。桜ヶ谷から車道と別れて小さな指導標がある山道に入る。雑木林の中をしばらく登り稜線に出て急な登りに一汗かくともう破風山山頂である。ここまでは野巻のはずれの棕神社から山上集落を経ても登って来こともできる。頂上からの眺めは360度 文字通り何も遮る物なく奥秩父 両神山、日光方面上越国境とあきること知らない。お弁当を食べて、ゆっくり休んだら、立札峠へ下る。農家が一軒あるだけの静かな峠だ。この奥にノッキンボウと呼ばれる数mの奇岩がある、往復しても30分位であるからちょっとのぞいてこよう。あまり期待する程でもない) 峠からは水潜寺まではひと下り。秩父34番西国板東と合わせた観音霊場として重要な札所となっている。胎内くぐりという自然トンネルなどもある。水潜寺のすぐ下が日野沢集落である。皆野行きのバスがあるが、回数が少ないので時間によっては歩こう。車の通行はわりと少ないので、みちくさをしながらまわりの山を眺めて歩くのも楽しいものである。

[参考タイム]

私が歩いた、かなりみちくさをしたの時間です。

池袋駅発 AM7:30 レッドアローにて西武秩父駅(¥1,370)一歩き-御花畑駅-皆野駅歩き始め AM10:00-棕宮神社 AM10:40-破風山山頂 PM12:20-山頂出発 PM12:57-水潜寺着, PM2:10 バス PM2:34-皆野駅着 PM3:00 皆野駅発 PM3:09(¥1,120)直通池袋駅行き-池袋駅着 PM5:18

8. 正丸峠・伊豆ガ岳 (851.4m)

正丸駅から正丸峠を経て伊豆ガ岳へ登るコースは、首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」として整備されている。

正丸駅から右手の階段を降り、西武線の高架を抜けて大蔵山の集落道を行く。細い流れに沿ってゆるやかな登りは、のどかな山間の道だ家のただ住まいや庭先の草花に目をやりながらのんびり歩くとよい。集落の奥で正丸峠への道と、伊豆ガ岳への近道とに分かれる。真っ直ぐに峠への道をたどろう。

すぐに細い山道となる。途中ガーデンハウスへの道と分かれて、沢沿いに登って行く。木段の急登にひとあえぎすると正丸峠だ。茶店があり、国道299号線が峠上を越えているためマイカーで賑わっている。伊豆ガ岳へは茶店の横から樹林の中の山道にいる小さな登り下りで小高山に着くと眼前に目指す伊豆ガ岳の突峰が望める。左右の展望が開けた明るい尾根歩きに変わって、伊豆ガ岳の登り口へ。クサリを頼りに登る岩場コースと普通の山道だ。元気な人は岩場コースにチャレンジしよう。足場がしっかりした岩場だから危険はないが慎重に行動したい。岩場のアタックは20分程で山頂に登り着く。展望は木の間越しに広範囲だ。武甲山をはじめ武川岳、二子山など奥武蔵、秩父の山並みがすばらしい。下山コースは、大蔵山へのコースが一般的だ。

沢沿いの道で、滑りやすい所もあるが、短時間で下れる。そのほか尾根通しに子ノ権現へと足を延ばす約4時間の健脚コースもある。また、山頂のすぐ下から花桐の集落へ下りるコースは静かで、西吾野駅へ約2時間だ。

[コースガイド]

池袋駅－（西武池袋・秩父線急行1時間20分）－正丸駅－（徒歩30分）－大倉山集落－
（徒歩35分）－正丸峠－（徒歩1時間）－伊豆ガ岳－（徒歩50分）－大倉山集落－（徒歩25分）－
正丸駅－（西武秩父・池袋線急行1時間20分）－池袋駅

徒歩時間合計 200分（3.3時間）

9. 秩父琴平丘陵

秩父の山並みを眺めながらの軽いハイキング。

西 武秩父駅頭に立つと、いやが上にも武甲山が目に入る。その麓に続く丘陵が琴平丘陵コースだ。

駅前を走る国道140号線を左へ。すぐ信号の所を右に入るのが羊山公園への道。登り口には歌人若山牧水にちなむ、人工の牧水の滝が流れ落ちている。かたわらに秩父で詠んだ歌碑がある。羊山公園からは秩父市街が眼下に一望でき両神山や奥秩父の山並みも望遠できる。公園から南へ車も通る舗装道に行く。やがてのどかな畑道に変わり、武甲山が間近に仰がれる。畑を抜けて雑木林の中を下り、いったん広い道に出て、住宅地を過ぎると山間いへと入って行く。武甲山入り口の石碑が立つ分岐を右へ入れば、植林の中の山道へと導かれる。

小さな流れを何度か渡り、小尾根を乗っ越して丘陵上へと登って行く。しばしの急登で長者屋敷と呼ばれる小平地に出る。ここには休憩小屋がありサクラなどの琴平神社材木園になっている。木の間隠れに両神山などの山並みがのぞく。丘陵コースをさらに南へたどろう。

小さな上り下りの尾根歩きから岩壁の下を巻き鉄梯子を登れば札所26番の奥の院、岩井堂（観音堂）に着く。岩壁に立つ朱塗りの観音堂は懸崖舞台造りの美しい様式で、札所34ヶ所の寺の中で出色。岩井堂の下の鞍部から長い石段道が下っている。26番札所の本堂へ通じる道で、昔ながらの巡礼道だ。ここから影森駅へ約20分で出られる。さらに尾根道をたどり、小さなピークを越えて行くと護国観音の突峰。コンクリート製の5mほどの大きな観音像が見事だ。このすぐ下が札所27番の大淵寺で、影森駅へは近い。時間があつたら、橋立鍾乳洞がある札所28番まで約30分の行程なので足を延ばすのもよいだらう。

[コースガイド]

池袋駅－（西武池袋・秩父線急行1時間40分）－西武秩父駅－（徒歩15分）－羊山公園－（徒歩40分）
－武甲山登山口石碑－（徒歩40分）－長者屋敷－（徒歩20分）－岩井堂－（徒歩30分）－大淵寺－（徒歩10分）
－影森駅－秩父鉄道7分）－御花畑駅－（徒歩5分）－西武秩父駅－（西武秩父・池袋線特急1時間25分）－池袋駅

10. 高山不動・関八州見晴台

奥武蔵の名刹高山不動を訪ねて

西吾野駅から坂道を下ってすぐ右折、北川沿いに行く。間野の集落の中ほどから小さな鉄橋を渡って山道へと入る。斜面に立つ民家の前を通り抜けると植林の中へジグザグに登って行く。ひとしきり急登が続く。ひと汗かくころ萩の平の茶店に出る。ほっとする所だ萩の平を過ぎると、ゆるやかな登りとなって、尾根をからむように植林と雑木の間をよい山道が続く。高畑からの道を合わせると、高山不動はすぐ。

標高600mの山の上、緑の山を背にして立つ堂々とした大きな不動堂。さすが奥武蔵の名刹だ。お不動さんへ詣でたら見晴台まで往復してこよう。不動堂の脇にあるトイレの横から近道がある。グリーンラインを横断して、サクラ並木の山道を登って行く。関八州見晴台には高山不動の奥の院が鎮座している。樹木がちょっと邪魔をするが、雄大な展望が楽しめる。

不動堂へ戻ったら急な石段を下って、大銀杏が立つ広場から左へ。学校(廃校)の建物の前を通って八徳方面へ。集落を結ぶ昔ながらの静かな山道を行く。峠状の鞍部で八徳道と志田道とが分かれる。どちらをとっても吾野駅への道に出られる八徳へは一気に下ってしまう。小さな流れの横に下り立つと、ひょっこり車道に出る。あとは舗装道をのんびり。

のどかな集落を抜けて吾野駅へ。

[コースガイド]

池袋駅ー(西武池袋・秩父線急行1時間25分)ー吾野駅ー(徒歩20分)ー間野ー(徒歩40分)ー萩の平ー(徒歩30分)ー高山不動ー(徒歩30分)ー関八州見晴台ー(徒歩15分)ー高山不動ー(徒歩10分)ー八徳・志田分岐ー(徒歩30分)ー八徳ー(徒歩1時間10分)ー吾野駅ー(西武池袋線急行1時間20分)ー池袋駅

徒歩時間合計 245分(4.1時間)

11. 子ノ権現から竹寺 奥武蔵の古刹を訪ねる

西吾野駅前の広場から坂道を下って国道に出たら左へ行く。10分ほどで子ノ権現、小床コースの入り口だ。小さな流れに沿って山間をたどる。小床の集落への道に入り、ゆるやかに登って行く。林道の終点から細い山道に入る。沢沿いの杉林の中を登る。ジグザグの急坂から小尾根を乗っ越し、ダラダラ下りから再び登り返すと下久通からの山道を合わせる柿ノ木峠だ急斜面を登って車道に出れば子ノ権現はもうすぐそこ。子ノ権現は天台宗の寺で、正式には大麟山天竜寺という。昔から「足腰の神様」として有名な奥武蔵の古刹だ。境内にある鉄製の大王ラジと大下駄が目玉を引く。寺へ参ったら伊豆ガ岳方面への道をしばらくたどる。分岐で伊豆ガ岳への道と分かれて、左へ植林の中を下って行こう。急坂を一気に下って、尾根道をからみまた急坂を登る。平頂のピークを越え急坂を下り切った所が豆口峠。周囲は伐採されて、明るく静かな峠だ。峠から整然と植林された奥武蔵特有の山道を進む。やがて真っ直ぐ竹寺へ行く道と、展望台への尾根道との分岐に出るが、展望台経由で竹寺へ行こう。天王山八王寺。通称「竹寺」。竹林に囲まれ。竹製の器で風雅を味わう精進料理で知られる山寺だ。竹寺からは八幡坂を下って名栗川畔の小殿へ出られる。

[コースガイド]

池袋駅-(西武池袋・秩父線急行 1 時間 1 5 分)-西吾野駅-(徒歩 1 0 分)-小床入口-(徒歩 1 5 分)-小床集落
-(徒歩 1 時間)-子ノ権現-(徒歩 4 0 分)- 豆口峠-(徒歩 3 0 分)-展望台-(徒歩 5 分)-竹寺-(徒歩 4 0 分)-
小殿-(バス 5 0 分)-飯能駅-(西武池袋線急行 5 0 分)-池袋駅

徒歩時間合計 2 0 0 分 (3. 3 時間)